



no. 152

2010年(平成22年)  
6月20日発行

あの路 木の花／阿佐谷南の〴〵一本櫨、通り  
みどり探訪／久我山四丁目のケヤキ並木  
「みどりのイベント2010『自然』と遊ぼう」  
みどりの窓／『樹木写真展』報告  
園芸ワンポイント／オオムラサキツツジ

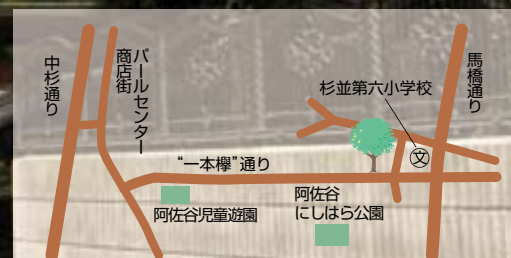
## あの路<sup>みち</sup>木<sup>に</sup>の花<sup>はな</sup>

### 阿佐谷南の〴〵一本櫨、通り

区立杉並第六小学校南側の通り沿いに、高さ20mを超える大きなケヤキの木がそびえています。ケヤキとしてはユニークな丸い形をしており、持ち主の方によれば、御神木として長年大切に、「どこから見ても変わらない形」に手入れしているそうです。

持ち主の方のみどりに対する愛情は、いつしかご近所の人々にも波及し、阿佐谷パールセンター商店街まで続く通りには、いま、美しいみどりの景観が広がっています。

新緑の頃は、ナツミカンの白い花、バナナの香りのするカラタネオガタマの可憐なクリーム色の小花、モッコウバラの黄色、ツツジの紫と、色とりどりの美しさで咲き乱れています。まさに四季折々が楽しみな通りです。みどり豊かな杉並のまちづくりは、1本の木を大切にすることからも始まるのかもしれないね。





## 久我山四丁目のケヤキ並木



京 王井の頭線久我山駅北口から数分、ゆるやかな坂道を上がると、見事なケヤキ並木が目飛び込んできます。

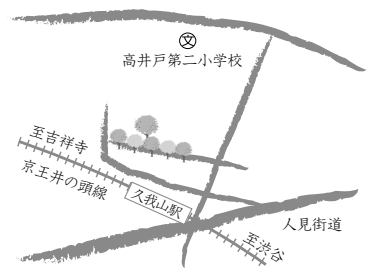
高台の閑静な住宅街の中、100mほどの小道の南側に整然と並ぶケヤキの大木は、春には新緑の葉をつけ、樹形は空に向かって放射状に広がり開放感を演出し、夏には緑陰トンネルとなって涼しげな空間を作ります。また、秋は紅葉の明るい空間を彩り、そして冬は寒さに耐えて凜とした枝振りが、人々に元気を与えてくれます。このすばらしい景観は、これまで幾度か映画のロケにも使われてきたそうですが、それは十分にうなづけます。

ケヤキ並木は30余年前、古くからこの地に住むご当主が「道行く人々の憩いになれば」と植樹されたもので、今日まで手厚く育てられてきました。現在は9本ですが、かつては12本が豊かなみどりを競っていたそうです。植栽された家人のみどりを愛する心は、近隣の人々の理解と協力を得て、いまでは地域の財産として親しまれ守られています。

取材に伺った日は、ケヤキ並木を吹き抜ける風がとても爽やかで心地よく、お屋敷の角に据えられた小さな石垣に腰を下ろすと、改めてみどりのすばらしさを痛感しました。



ケヤキ並木を守る秦さんご夫婦とご子息



※個人宅につき邸内には立ち入れませんが、外からは観賞できます。

## 緑の歳時記

### ヒメオドリコソウ (姫踊り子草)

シソ科 / ヨーロッパ原産の越年生草本

**高**さは10~25cmです。茎は下部で枝分かれして立ち上がり、4稜(手ざわりが四角)で下向きの短毛があります。葉は対生で長さ1.5~3cmの丸みのある卵形で、ふちに鈍い鋸歯があります。また、網目状の脈が目立ちます。上部の葉は密集してつき、緑色または赤紫色になります。花は約1cmの唇形、紅紫色まれに白色で、茎の上部の葉のつけ根に数個ずつつけます。

明治の中期(1893年)に東京で最初に気づかれ、世界中に広く帰化しています。繁殖力が強く、区内でも道ばた・空き地・個人の庭・公園などでごく普通に見ることができます。

名前は可愛らしいですが、在来種のオドリコソウと比べるとどうしても見劣りがしてしまいます。



# 「みどりのイベント2010 -自然..と遊ぼう!-」

**遊**びを通じて、身近にある「みどり」に親しみ、みどりと遊び、みどりについて考える「みどりのイベント2010『自然』と遊ぼう!」を5月15日(土)、柏の宮公園(浜田山2-5-1)で開催しました。当日は天候に恵まれ、延べ3,700人の方(中には“なみすけ”の姿も!)にご参加いただきました。

本イベントでは、地域でみどりに関する活動をしているボランティア団体、区内の造園業者有志、浜田山町会・浜田山商店連合会、杉並区(みどり公園課)が、みどりと関係する20の企画を出展しました。工作で木や竹の香りを嗅ぎ、田植えで土に触れ、茶会でお茶を味わうなど、様々な企画に参加された子供から大人まで、みどりと触れ合い楽しんだ一日となりました。



みどりの  
**窓**

## 『樹木写真展』が開催されました



—私たちの貴重な財産・樹木を知ろう—というコンセプトで5月25日から6月13日まで、ギャラリーオノマトペ(阿佐谷北四丁目)において「すぎなみの樹木写真展」が開催されました。

ボランティアによる企画から生まれたこの写真展は、杉並区内の公園の樹、屋敷林などの写真30数点が展示され、来場者は「自分の身近にある樹とは思えない。」「他にもこんな木がありますよ。」と話し、写真に見入っていました。

この展示で紹介した写真は、7月12~16日に杉並区役所1階のロビーで行う「みどりの基金」キャンペーンで併せて展示いたします。樹木写真展をご覧になれなかった方は、是非お越しください。





みどりに関する相談は  
**塚山公園みどりの相談所**  
 ☎03-3302-9387  
くさばな  
 毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分



## 花が咲き終わった後の手入れ(オオムラサキツツジ)

### 害虫

ツツジの花が終わり新葉が伸びだす5～6月頃から晩秋にかけて、ツツジグンバイムシが数回発生し、葉を加害する。葉裏で汁液を吸うので、葉に微小白点ができる。このために、葉全体が白いカス状になる。このような葉裏には、黒いタール状(糞)が散在し、著しく美観を損なう。成虫は名前のように軍配状の形をした小虫で、体長3～4mm、黒褐色。防除するにはマラソン乳剤2,000倍液をなるべく葉裏にかかるように、またはオルトラン粒剤を1㎡当たり3g程度を樹上からばらまき、虫の加害が続くので度々散布したい。

### 剪定と刈り込み

ツツジの枝は上に伸びるより、横に広がる性質がある。形をよくするために、切り込む必要がある。ツツジの花芽は6～7月にできるので、これ以降に切ると翌年の蕾を切り落とすことになる。剪定・刈り込みは、花の終わった後すぐから1ヶ月以内に行うのがよい。徒長枝は10月に切って、芽先を揃えることもある。

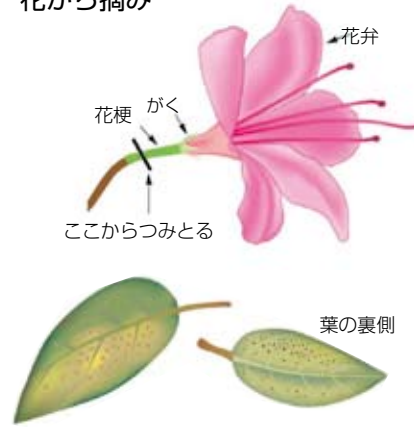
### 肥料

花が咲き終わったらすぐ肥料を施す。油かすを年2～3回、株のまわりに置肥として1㎡当たり15g程度施す。または化成肥料を株のまわりに散布するのもよい。

### 植え替え

庭などで植えなおす場合は、排水のよい場所を選ぶことが大切で、滞水する場所など根腐れを起こしやすいので、土を盛り上げて植える必要がある。常緑ツツジの大部分は、日当たりのよい場所ほどよく花が咲く。

### 花から摘み



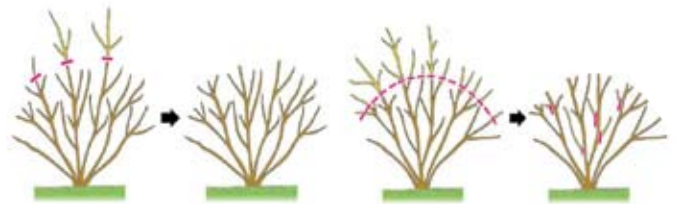
### 害虫



ツツジグンバイムシによる被害

ツツジグンバイムシの成虫

### 剪定・刈り込み



樹形を大きく仕立てるときは、軽く剪定する。

樹形を大きくしないときは、思い切って枝先を刈り込んだのち、こみ合った枝を間引く。

### 年間管理表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
生育		つぼみ拡大		開花	春芽伸長		花芽分化		秋芽伸長		紅葉休眠	
花からつみ												
刈込み												
植替え												
肥料												
害虫												

害虫名…ツツジグンバイムシ 殺虫剤…オルトラン粒剤、マラソン乳剤  
 刈込み…切り戻し、枝すかし、徒長枝など、花後できるだけ早く行う。  
 肥料…化成肥料、油粕の置肥  
 植替え…浅植え

## 編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- 今春は気温の温度差が激しく、花の咲き具合が狂ってしまったように感じています。(山)
- 鮮やかな青葉が映えるみどりの生垣。庭には手入れの行き届いた樹木に初夏の花が…。みどり豊かな杉並はます自らの家から、ですね。(羽)
- 「みどりとひと」の編集に加えていただいて3年目になりました。これからたくさんの方々に出会いたいです。(朋)
- 長年に渡りみどりを大切に育てている方々にお会いし、みどりを通して広がる心の和のすばらしさに感動しました!!(原)
- 初めての取材・編集で、見事なケヤキ並木は多くの方が協力されているのが分かりました。(石)
- 今年は寒暖の差が大きく、草木もとまどっていることでしょう。(茂)
- 多くの編集委員が専門・好みによって、喧々譁々で編集しました。(佐)



みどりの新聞 みどりとひと152号 平成22年6月20日発行

編集/みどりのボランティア  
 編集・発行/杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111  
 「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/



PRINTED WITH  
**SOY INK**

大豆インク使用



ケナフ紙使用